





協議体は、介護保険制度のもと、全国すべての自治体が行う「生活支援体制整備事業」の取り組みです。

南足柄市において、超高齢社会での住民主体の助け合い活動を行う「協議体」の理解を深めるための説明会が開催されました。

その主旨に賛同した私たち（有志）が「自分たちの協議体」を立ち上げようとしています。

限りある介護人材や財源を必要とする人のためにしっかりと活かしながら、より多くの高齢者の健康と生きがいを支える地域のしくみをつくるのが協議体の目的です。

協議体は、各団体や住民が集まり情報や意見を交換することで新たな気づきや取り組みが生まれる場となります。

誰もが年齢を重ねても健康で幸せに、地域で孤立することなく暮らせるまちづくりをめざします。



協議体は、介護保険制度のもと、全国すべての自治体が行う「生活支援体制整備事業」の取り組みです。

南足柄市において、超高齢社会での住民主体の助け合い活動を行う「協議体」の理解を深めるための説明会が開催されました。

その主旨に賛同した私たち（有志）が「自分たちの協議体」を立ち上げようとしています。



台河原

こんな関わり方もあります

【始まりは自治会の危機感から】

高齢者世帯の退会

理由①高齢により組長の役割ができない

②行事に参加できない

③児童館が高台にあるため行くのが大変 等
転入してきた子育て世帯も加入には至らず・・・

【検討委員会の立ち上げ】

なんとか現状を変えたいと自治会が

「検討委員会（話し合いの場）」を立ち上げた

自治会加入率の低下

＜台河原地域の特徴＞

＊世帯数、高齢化率ともに市内で平均に近い地域。

＊地域の中で高低差があり児童館（公民館）は

高台にあります。



地域でマルシェを開催したら良いのではないかな

話し合いから生まれた取り組み

マルシェを開催しよう

～地域の商店も巻き込んで～



▲マルシェでの野菜販売の様子（あおぞら広場）



▲台河原印のついたコースター

▲地域の商店も一緒に盛り上げます



高台にある児童館



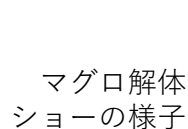
高台下のあおぞら市場

両方を兼ね備える工夫

子育て世帯向けのイベント開催

交互に開催

高齢者向けの地域で採れた野菜の販売



マグロ解体ショーの様子



▲餅つき大会の様子

取り組みについての詳細は、6月30日の情報交換会の際に報告していただきます！

駒形新宿

わたしたちの地域では、こう始まった

【始まりは有志の呼びかけ】

有志が協議体の説明会を開き、課題を共有しました。

「移動が難しくなる人の増加」「近所付き合いの減少」

【最初のひっかかり】

「自分たちができることは何だろう」

「自治会加入率が減る中でどう関わるか」

【話し合いで見たこと】

話し合いを重ねる中で、「地域を大切にしたい」という思いが一致し、協議体で話し合いながら自治会と連携して進めていくことになりました。

＜駒形新宿地域の特徴＞

＊世帯数は比較的少なくコンパクトな地域。

＊高齢化は市内平均程度、後期高齢化率は低め。

＊地域福祉会や老人クラブなどの活動が続いています。

不安も
ちりり...

話し合いから生まれた取り組み①

ベンチを置こう

～ここ、ちょっと休めたらいいよね～

声があがる

高齢者が休める場所がほしい

木材が集まる

大工さんの余り材でベンチ製作

相談する→申請する

設置には市の許可が必要
自治会長が市に申請

工夫する

目立つ色に塗装

設置！



設置後は...

・歩行中の休憩場所に
・公民館前の集いの場に

ちょっとしたお知らせの掲示にも
さがして
います

話し合いから生まれた取り組み②

畑を作ろう

～畑の耕しが心の耕しに～

場所が見つかる

元駐車場を畑にしたい



▲苗・肥料は自治会の公民館事業で

準備する

一緒に作業しよう



収穫！

焼き芋に



みんなで祝う



▲持ち寄り食材で開くこまがたあぐり食堂

やってみて分かったこと

・準備から関わることで自分事に

・顔を合わせ、心も体も温まる時間に



来年もやりたいね

地域によって、できることも、始め方もさまざまです。

大切なのは、話して、考えて、

できることから少しずつ動いてみることに。

協議体は、そのための「話し合いの場」です。

まずは、話し合いやイベントに

ふらっと顔を出すところから始めてみませんか。

